

＜福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ＞
(10月27日 午後3時30分現在)

平成23年10月27日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

福島第一原子力発電所は全号機（1～6号機）停止しています。

1号機（停止中）

- ・ 3月12日午後3時36分頃、直下型の大きな揺れが発生し、1号機付近で大きな音があり白煙が発生しました。水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後3時37分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
現在の注水量は給水系配管から約 3.8m^3 /時です。
- ・ 4月7日午前1時31分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・ 8月10日午前11時22分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 10月26日午後1時17分、原子炉建屋において原子炉格納容器ガス管理システム設置工事の一環として、原子炉停止時冷却系配管内の水素濃度が0.1%以下であることを確認した上で、当該配管の切断を開始しました。同日午後3時15分、切断作業を完了し、その後、切断した配管の閉止板溶接や配管の穴あけ箇所の閉塞作業を行い、午後7時、全ての作業を終了しました。

2号機（停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃に圧力抑制室付近で異音が発生、同室の圧力が低下しました。
- ・ 3月26日午前10時10分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 9月14日午後2時59分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
現在の注水量は給水系配管から約 2.9m^3 /時、炉心スプレイ系注水配管から約 7m^3 /時です。
- ・ 5月31日午後5時21分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 6月28日午後8時6分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。
- ・ 10月27日午前10時30分、原子炉建屋において原子炉格納容器ガス管理システムの設置工事の一環として、系統漏えい試験を実施し、系統へのインリーク量に問題がないことを確認しました。
また、仮運転試験を実施し、同日午後2時30分、電気ヒーター、排気ファンの運転状態に問題がないことを確認しました。

3号機（停止中）

- ・ 3月14日午前11時1分頃、1号機同様大きな音とともに白煙が発生したことから、水素爆発を起こした可能性が考えられます。
- ・ 3月25日午後6時2分より原子炉への淡水の注入を開始し、現在は外部電源から受電した電動ポンプで淡水の注入を行っています。
- ・ 9月1日午後2時58分、給水系配管からの注水に加え、炉心スプレイ系注水配管から原子炉への注水を開始しました。
現在の注水量は給水系配管から約 2.9m^3 /時、炉心スプレイ系注水配管から約 8m^3 /時です。

- ・ 6月30日午後7時47分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。(10月27日午後1時30分から午後3時8分まで、ヒドラジン〔腐食防止剤〕を併せて注入)
- ・ 7月14日午後8時1分、原子炉格納容器内へ窒素ガスの注入を開始しました。

4号機（定期検査で停止中）

- ・ 3月15日午前6時頃、大きな音が発生し、原子炉建屋5階屋根付近に損傷を確認しました。
- ・ 7月31日午後0時44分、使用済燃料プール冷却浄化系の代替冷却装置によるプール水の循環冷却を開始しました。
- ・ 8月20日午前11時34分、4号機の使用済燃料プールにおいて塩分除去装置の運転を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

5号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しております。
- ・ 3月19日午前5時、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後2時30分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 7月15日午後2時45分、本設の残留熱除去海水系(B系)ポンプによる残留熱除去系(B系)の運転を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

6号機（定期検査で停止中）

- ・ 安全上の問題がない原子炉水位を確保しています。
- ・ 3月19日午後10時14分、残留熱除去系ポンプを起動し、使用済燃料プールの冷却を開始しました。
- ・ 3月20日午後7時27分、原子炉は冷温停止状態となりました。
- ・ 9月15日午後2時33分、原子炉は残留熱除去系、使用済燃料プールは補機冷却系および燃料プール冷却系、各々の系統による冷却を開始しました。
- ・ 現時点において、原子炉格納容器内での冷却材漏えいはないものと考えています。

その他

- ・ 6月13日午前10時頃、2、3号機スクリーンエリアに設置した循環型海水浄化装置の運転を開始しました。
- ・ 6月17日午後8時、水処理設備において滞留水の処理を開始しました。また、7月2日午後6時、水処理設備による処理水を、バッファタンクを經由して原子炉へ注水する循環注水冷却を開始しました。
- ・ 8月19日午後7時41分、セシウム吸着装置から除染装置へのラインと第二セシウム吸着装置の処理ラインの並列運転による滞留水の処理を開始しました。
- ・ 10月7日午後2時6分、伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的とした構内散水を、5、6号機滞留水浄化後の水を利用し、開始しました。
- ・ 10月20日午前10時、3号機タービン建屋地階から集中廃棄物処理施設高温焼却炉建屋への溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 10月20日午前10時12分、2号機タービン建屋地階から集中廃棄物処理施設プロセス建屋への溜まり水の移送を開始しました。
- ・ 10月25日午後5時31分から10月26日午後2時1分まで、1号機タービン建屋地階から2号機タービン建屋地階へ溜まり水の移送を行いました。
- ・ 10月26日午前10時から午後4時まで、6号機タービン建屋内から仮設タンクへ溜まり水の移

送を行いました。

- 10月8日に液体の漏えいが確認された、淡水化装置（逆浸透膜型）の逆浸透膜濃縮水移送ホースについて、10月26日、当該ホースの交換を実施しました。
- 10月26日午前9時47分、1～3号機の原子炉への注水について電源強化工事による設備停止に伴い、常用注水ラインから非常用注水ラインへの切り替えを実施しました。
その後、電源強化工事終了に伴い、非常用注水ラインから常用注水ラインへの切り替えを実施しました（1、2号機は同日午後4時10分、3号機は同日午後3時33分に流量安定を確認）。
なお、切り替えにあわせ、1号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 3.8m^3 /時に調整、2号機の原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 3m^3 /時、炉心スプレイ系からの注水量を約 7m^3 /時に調整、3号機原子炉への注水について、給水系からの注水量を約 3m^3 /時、炉心スプレイ系からの注水量を約 8m^3 /時に調整しました。
- 10月27日午前10時、仮設タンクからメガフロートへの溜まり水の移送を開始しました。
- 10月27日午前9時55分、2号機の原子炉注水ラインにおいて、注水量の制御性向上のため流量調整弁の追設作業を行うにあたり、1号機および2号機の原子炉への注水について、常用注水ラインから非常用注水ラインへの切り替えを実施しました。その後、同作業終了に伴い、非常用注水ラインから常用注水ラインへの切り替えを実施しました（午後2時35分、流量安定を確認）。

以上